# 令和８年９月（第６回）北中城村議会定例会

一般質問日（令和8年１０月１５日、１６日）

| 質問者 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 |
|---|---|---|---|
| 10月15日（木）<br>① 比嘉　悟 | １．軍用地返還跡地について | 今年に入り、日米合同委員会において、喜舎場住宅地区の一部の返還が合意され、現在、着々と工事が進められているのが、県道８１号線沿いからも目視で確認ができ、跡地利用を期待している多くの村民からも、いつ、何ができるのかと、よく聞かれるようになってきた。そこで、喜舎場住宅地区とロウワープラザ地区について、進捗状況や今後の計画はどのようになっているか伺う。 | 村長 |
| | ２．役場庁舎のセキュリティ対策について | 今年５月、県内市町村において、業務用のパソコンの盗難事件が発生し、逮捕されたのは、庁舎内に出入りできる業務委託業者の派遣社員でした。盗難にあったパソコン１台には、１１万人超の個人情報が保存されており、幸い、個人情報の流出や悪用等の二次被害は確認されていないとのことですが、一歩間違えれば、住民の生命・財産にかかわる大きな問題だと考える。そこで、我が北中城村では、役場庁舎への入退庁管理はどのようになっているか伺う。 | 村長 |
| | ３．防災連絡協議会の進捗について | 令和７年１２月５日に、北中城村議会より防災連絡協議会等の防災に関する組織を早期に設置することを求める提言書を村長へ提出した。その後の進捗状況を伺う。 | 村長 |
| | ４．子ども医療費助成について | 子ども医療費助成を高校生まで拡大して欲しいと、これまで２度質問してきた。村長の公約でもあり、１２月の予算編成を前に、次年度に向け実現できるか伺う。 | 村長 |

# 令和８年９月（第６回）北中城村議会定例会

一般質問日（令和8年１０月１５日、１６日）

| 質問者 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 |
|---|---|---|---|
| 10月15日（木）<br>② 比嘉　正志 | 1．モビの利用促進を更に一歩前へ | 7月１日からＡＩオンデマンド交通（予約型乗合タクシー、通称モビ）の実証実験運行が開始しました。ＡＩオンデマンド交通とは、決められた乗り降り場所の間を皆さんの予約に応じて運行するサービスです。決まった時刻表は無く、必要時に予約をして利用する「地域の乗り合い交通」です。と、村ホームページでは説明されています。<br>以前、実証実験を行なっていたコミュニティーバス、グスクめぐりんも安価で、一度に多くの乗客が利用できる長所は有りましたが、今、行われているモビは、乗り降り場所が９４箇所へ拡大し、村内を駆け巡るモビを見る機会が多くあることから村民の需要は高いものと推察されます。<br>そこで以下の質問を致します。<br>① 7月からモビの実証実験を行なっているが、7月と8月の利用状況は報告が可能か。<br>② 6月まで行なっていたグスクめぐりんと前年度の同月と比較して利用状況に変化は見られるか。<br>③ 実証実験が始まって、まだ2、3か月しか経過していないが、住民からの声（要望など）はあるか。<br>以上、３件の答弁を求めます。 | 村長 |
| | 2．教育現場の負担軽減を急げ | 先の６月に行われた第４回定例会一般質問の中で、「学校へ行けない子への対応は」について質問をしましたが、答弁の中で物足りなさを感じましたので引き続き質問をさせて下さい。<br>本村で教育支援センターが設置されない理由は、と、問うたところ当該児童生徒に対しては、まず真っ先に担任の先生が対応する。そして相談支援の先生へと繋ぎ、校内で対応し、校内で、そういう場所を作る。との答弁でした。<br>そこで以下の質問を行ないます。 | 村長<br>教育長 |

# 令和８年９月（第６回）北中城村議会定例会

一般質問日（令和8年１０月１５日、１６日）

| 質問者 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 |
|---|---|---|---|
| 10月15日（木）<br>② 比嘉　正志 | | ① なるべく校内で対応したい意図は理解できるが、それでも校内に入れない子への対応は。<br>② 校外の対応できる場所として県の施設や近隣施設を挙げていたが、村内には無いのか。<br>③ 村内では児童館や公民館などを例に挙げていたが、速やかな対応は可能か。見守りの支援の先生は居るのか。<br>④ 民間施設のガイドラインにて諸問題がクリアすれば出席扱いも可能との説明がありましたが、現在、その対象となる施設は稼働しているのか。<br><br>以上、大枠２件を質問いたします。 | |
| 10月15日（木）<br>③ 名幸　利積 | １．来年度予算と予算編成手法について | 国の令和９年度予算の概算要求総額は過去最大の１４３兆円となりました。４年連続で過去最大を更新しています。最大になった理由は２つあります。１つは要求上限を設けない「強く豊かな日本」と題した投資枠が新設されたこと。２つめに「補正予算依存からの脱却」の方針のもと、これまで年末の補正予算で措置されてきた経費が当初予算に計上されたことによるものです。このことは地方財政に大きな影響と変革をもたらすものと考えます。そこで伺います。<br>①　恒常的施策の当社予算への移行への対応や財源確保に向けた取り組み。<br>②　従来は補正予算や国の経済対策による臨時交付金等に大きく依存していた物価高騰対策や中小企業支援などの事業について、今後は当初予算の段階で十分な財源、計画を立てる必要があるが。<br>③　これまでの年度途中の補正予算や国の交付金を前提としていた継続事業について、当初予算へどうのように組み込み安定的に実施するのか。<br>④　今回の国の方針転換は、市町村の財政計画や基金(特に財政調整基金)への負担や影響がどう変化するのか。 | 村長 |

# 令和８年９月（第６回）北中城村議会定例会

一般質問日（令和8年１０月１５日、１６日）

| 質問者 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 |
|---|---|---|---|
| 10月15日（木）<br>③　名幸　利積 | | ⑤　県や市町村の予算編成手法には大きく分けて２つの手法があります。各課が必要な事業に伴う経費を財政(企画振興課)に要求をする「一括積み上げ方式」と、あらかじめ予算枠(上限額)が配分されて、各課がその枠内で優先順位を考えて予算を組立てる「枠配分方式」があります。北中城村は従来から「一括積み上げ方式」で予算編成を実施してきたと思うが、国の来年度予算編成の方針転換を機に北中城村も「枠配分方式」の導入を調査、研究、検討する必要があると考えるが、見解を伺います。 | |
| 10月15日（木）<br>④　喜屋武すま子 | １．各自治公民館の充実について | 　７月現在１，１６６人が住む字ライカム自治会の結成に向けて住民らが動き出している。<br>　村広報には「つながろう!ライカム地区～ライカム発足～の歩み」と題しコーナーが設けられ、これまで５回掲載され目を通す度にうれしくなります。ひとりまたひとりとつながって行く様子が感じられます。<br>まず１点目にライカムについて<br>①ライカム自治会準備員会のこれまでの活動について伺う。<br>②字ライカ地区には多様な国の人々が暮らしている。言語は違うがどのようにつながろうとしているのかお聞きします<br>③自治会発足の目標は定まっているのか<br>④発足後の自治会活動の内容は、想定されているのか<br>⑤自治会建設の位置（場所）は想定されているのか。<br>⑥国際化に向けて新たな自治会づくりになると思うが、県外等での施策研修も組み入れてはどうか。<br><br>各自治公民館の充実に向けて<br>①　現実は気象変動による大型台風の到来や大雨による浸水被害、崖崩れ、大型地震 | 村長 |

| 質問者 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 |
|---|---|---|---|
| 10月15日（木）<br>④　喜屋武すま子 | ２．これからの村づくりについて | と国内で被害が続出している。現在村民の避難所は、主に役場庁舎等が使われているが、地域の公民館も避難所に指定されている。公助、共助の観点から自治公民館には充実した整備が必要と考えるが村の考えを伺う。<br>②　自治会離れが起き、自治会加入率も年々減少傾向にある。各自治会の問題としてではなく、役場全体でこの村のありようを考えていく必要があると考えるが村当局の考えを伺う。<br>③　各自治会活動には、自治会長の他事務員が配置されていない自治会が多くある。住民からの声は公民館へいっても館は閉まって困ったと聞く。<br>以前その件で一般質問した中で村当局は、事務員の費用は各自治会補助金に含まれているとの答弁であった。今、算定基準を示して頂きたい。<br>④　住民は、いつ公民館へ足を運んでも対応できる公民館を望んでいる。地域住民は困っているのになぜ、公民館に事務員（一部は配置されている）は配置されていないのかを問う。<br>⑤村当局は、第２の役場として位置づけられている公民館だが、事務員を配置されていない自治会と話合いを持ってはどうか、伺う。<br><br>今年は、中城村から分村８０年、村政８０周年。これからの北中城村の姿を展望する新たなスタートになる。<br>村では、記念事業として様々な企画がされてきたが、農福連携も１つの柱となっている。来る１１月２１日には「村の農がつむぐ８０年とこれから」が企画されている。<br>①　担い手不足の村の農業従事者は、何名かを問う。<br>②　兼業農家の件数を問う。<br>③　令和６年度の沖縄県の食料自給率は、カロリーベースで３２％、生産額ベースで３８％である。カロリーで見ると沖縄県内で消費される食料の３割を県内生産で賄 | 村長 |

# 令和８年９月（第６回）北中城村議会定例会

一般質問日（令和8年１０月１５日、１６日）

| 質問者 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 |
|---|---|---|---|
| 10月15日（木）<br>④　喜屋武すま子 | | っていることになる。<br>離島県である沖縄県は国内で台風や地震等が発生すれば、ただちに物流等の影響を受ける。備蓄品で当面しのぐことはできても、持続可能な食料生産を増やすことが求められる。村の農業の施策はどうなっているかをと問う。<br>④　村の特産品としてアーサの拠点産地となっている。消費を促す努力はどうなっているか伺う。<br>⑤　牡蠣養殖の進捗状況を伺う。<br>⑥　村生産のキクラゲが注目を集めている。特産品としてのイベントも開かれる予定である。その他バニラ生産やコーヒー、バナナ、パパイヤなどの品目の植え付けも話題になっている。これらの品目の村の施策を伺う。 | |
| 10月16日（金）<br>⑤　上間　堅治 | １．村内道路行政 | ①　９月１日の改正道路交通法施行令の施行により、中央線などのない一般的な生活道路の法定速度が 60 キロから 30 キロに引き下げられました。村内における村管理道路はほぼこの一般的な生活道と思います<br>速度違反を取り締まるのは警察の役目ではありますが、村でもやらなければいけないこと。あるいは、出来る事もあると思いますが村の見解を伺います<br>②　島袋区内楽法寺横に一方通行があります、そこは島袋小学校への通学路にもなっています。その一方通行を逆走する車両が度々いると情報がありますが、村は把握しているか伺います。<br>③　県道 22 号線島袋 212 付近の T 字路になりますが以前建設課の協力でおゆずりスペースの看板の設置をしていましたが、現在看板がありません。そのため元のように島袋区内からの県道への進入が難しくなっている状態です。ここはライカム地区からの児童の徒歩通学も見られ、通学路として危険な状態と思います。看板の再設置の考えはあるか伺う。 | 村長 |

# 令和８年９月（第６回）北中城村議会定例会

一般質問日（令和8年１０月１５日、１６日）

| 質問者 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 |
|---|---|---|---|
| 10月16日（金）<br>⑤　上間　堅治 | ２．村の防災に関する取組 | 防災・災害関連の記念日として１月17日防災とボランティアの日。３月11日防災意識を育てる日。９月１日を防災の日と制定され、他にも多く防災や災害に関連する記念日があります。その理由はいかに日本が災害の多い地域として認識されていることの表れでもあります。<br>それぞれの記念日で意識されることはそれぞれ違いますが、特に９月１日の防災の日は 1960 年に制定された防災に関しての初めての記念日でもあり、台風や地震による災害に対する認識を深め、日頃の備えを確認するために制定された日と防災士の私としては認識しています。<br>沖縄では台風の災害は毎年のようにあり村民も対策は心得ているところと思いますが、地震に関しては大きな揺れを経験したことが無くあまり関心はないと思います。しかし、最近の研究では沖縄県にも活断層があり震度６以上の地震の発生確率もたかいとされている。<br>また、大雨警報や土砂災害警報は今年だけでも多く発令され線状降水帯発生情報等多くの水害に関する発令がある中、９月１日の防災の日に、村公報等による啓発活動が皆無であったことは残念です。そこで伺います。<br>①　９月１日に防災の意識を高める公報の必要はあったと思うが見解を伺う<br>②　個別避難計画の進捗状況は<br>③　地震における死者の８割が家屋の倒壊による圧死、窒息死とされている。北中城村の住宅の耐震化率とブロック塀の崩壊により通学中の児童の死亡事故もありました。建築基準に適していないブロック塀や危険な石積の把握は出来ているのか<br>④　今年６月には津波注意報が発令されました。村として東海岸地区の住民に対しての一時避難所の指定はあるのか。<br>⑤　防災士について、村に現在何人いるのか。また、村職員に対し防災士講習受講料の補助行っていると聞いている。その実績を伺う。 | 村長 |

# 令和８年９月（第６回）北中城村議会定例会

一般質問日（令和8年１０月１５日、１６日）

| 質問者 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 |
|---|---|---|---|
| 10月16日（金）<br>⑥　坂下　博幸 | 地域防災力の向上と自治会加入促進について | 近年の全国各地の災害に鑑み、行政の公助だけでなく住民同士の共助の重要性が認識されている。本村においても、いつ発生するかわからない大規模災害に備え、地域防災力を高める必要があると考える。<br>その中で自治会は要支援者の把握、安否確認など地域防災の中心的な役割を担っている。しかし、自治会の加入率が低ければ共助体制にも影響する。<br>そこで以下について伺う。<br><br>①　自治会加入率の現状を過去 10 年程度にさかのぼり、どのように把握しているか。<br>②　自治会加入率が地域防災力に与える影響についてどのように認識しているか。<br>③　自治会や自主防災組織と連携した防災訓練や防災活動をどのように実施しているか。<br>④　転入者や若年世帯、また生活困窮者の自治会加入促進についてどのように取り組んでいるか。<br>⑤　地域防災力向上の観点から、自治会加入率向上に向けた新たな施策は検討する考えはないか。 | 村長 |
| 10月16日（金）<br>⑦　棚原　和美 | 障がい者福祉について | 障がいのある方やそのご家族から、医療費に関する相談が寄せられています。<br>本村では、身体障がい者及び知的障がい者のうち一定の要件を満たす方について、重度心身障害者医療費助成制度により、入院・通院に係る医療費の助成が行われています。一方、精神障がい者については、精神通院医療に係る公費負担制度はあるものの、精神科等への入院については、同様の医療費助成の対象となっていません。<br>精神障がいについても、症状や生活状況によっては入院による治療が必要となる場合があり、入院が長期化した場合には、本人だけでなく家族にとっても大きな経済的負担となることが考えられます。 | 村長 |

# 令和８年９月（第６回）北中城村議会定例会

一般質問日（令和8年１０月１５日、１６日）

| 質問者 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 |
|---|---|---|---|
| 10月16日（金）<br>⑦ 棚原　和美 | | そこで、以下について伺います。<br>１．身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、それぞれについて、現在どのような医療費助成制度がありますか。<br>２．それぞれの制度について、直近３年間における実績について。<br>（１）対象者数<br>（２）助成内容<br>（３）利用件数<br>（４）助成額<br>３．精神障がい者の実態について。<br>（１）精神障害者保健福祉手帳所持者は何人いますか。<br>（２）入院経験者はどの程度いますか。<br>（３）医療費負担について相談を受けた件数は。<br>４．身体障がい者及び知的障がい者については、入院・通院が医療費助成の対象となっています。一方、精神障がい者については、通院に対する公費負担制度はありますが、入院については同様の助成制度がありません。この違いが生じている理由について、本村としてどのように認識していますか。<br>５．本村独自の制度として、精神障がい者の入院に係る医療費の一部を助成することについて、検討する考えはありますでしょうか。 | |

# 令和８年９月（第６回）北中城村議会定例会

一般質問日（令和8年１０月１５日、１６日）

| 質問者 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 |
|---|---|---|---|
| 10月16日（金）<br>⑧ 川上　龍太 | １．学校施設・教育環境の整備に関して | 学校は子ども達が１日の多くの時間を過ごす場であり、学習だけでなく生活の場でもあります。安全で快適な教育環境を確保することは、行政の重要な役割であると考えます。一方、学校施設老朽化への対応、校舎・体育館・運動場等の校内環境の維持管理、そして近年の厳しい暑さに対応した熱中症対策など、学校施設を取り巻く課題は多岐にわたっています。そこで、以下の点について伺います。<br>（１）本村の学校施設の老朽化について<br>①各小中学校の老朽化についての現在の状況<br>②現在把握している修繕・改修が必要な個所<br>③今後の改修や長寿命化計画についてどのような計画で進めていくのか。<br>（２）学校敷地内の維持管理について<br>①　各小中学校の学校敷地内・運動場等の草刈りやごみ拾い、樹木の管理等は現在誰がどのような体制で行っているのか。<br>②　教職員や父母教師会、保護者等に負担が生じていないか。教育委員会は実態を把握しているのか。<br>③　学校現場の負担軽減を図るための対策は。<br>（３）学校における熱中症対策について<br>①　本村の小中学校において、体育館を含めた熱中症対策を現在どのように実施しているのか。<br>②　体育館への冷房設備やエアコンの設置について現在検討を行っているのか。また、整備する場合の課題は。<br>③　緊急的な対策として大型冷風機やスポットクーラー等を各学校に配置する考えは。 | 村長<br>教育長 |

# 令和８年９月（第６回）北中城村議会定例会

一般質問日（令和8年１０月１５日、１６日）

| 質問者 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 |
|---|---|---|---|
| 10月16日（金）<br>⑧ 川上　龍太 | ２．企業版ふるさと納税を活用した村の魅力発信と地域活性化について | 本村には世界遺産中城城跡や国指定重要文化財中村家住宅をはじめ、豊かな自然や文化、観光資源、そしてイオンモール沖縄ライカムといった商業施設等、多くの魅力ある地域資源があります。ただ、こうした魅力が「北中城村」という村の名前と十分に結びついて村外・県外に発信されているのか。また、村外・県外の方々に北中城村そのものを知って実際に来訪して消費して頂き、地域活性化につなげることができているのかについては、検討すべき課題があると考えます。<br>このような課題を解決するため、地方創世の取組に対する企業からの寄附を財源として活用できる「企業版ふるさと納税」という国の制度を活用し、村の一般財源への負担を抑えながら、本村が持つ魅力を全国に発信、本村の認知度向上、交流人口・関係人口の拡大、さらには地域経済の活性化へつなげていく事が可能ではないかと考えます。そこで、以下の点について伺います。<br><br>（１）企業版ふるさと納税の現在の状況について<br>（２）企業版ふるさと納税を活用した今後の取組について<br>（３）企業版ふるさと納税を財源とした新たな村の PR や地域活性化事業の可能性について | 村長 |